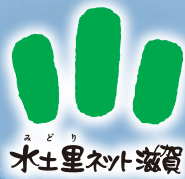


みどり 水土里ネット滋賀NEWS



豊かで美しい滋賀の農業農村を
次世代へ!

令和7年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画
コンクール受賞作品

知事賞

「田んぼのまわりの生き物たち」



近江八幡市立安土小学校 よしむら 吉村 みあ 美亜 さん

県教育長賞

「ふるさと風景」



大津市立仰木小学校 さごい 佐合井 あこ 茜子 さん

滋賀県世代をつなぐ農村まると
保全推進協議会長賞

「おいしいお米に育ってね」



彦根市立城北小学校 いしはら 石原 りお 莉緒 さん

令和8年(2026年)1月

滋賀県土地改良事業団体連合会

新年のご挨拶

滋賀県土地改良事業団体連合会(水土里ネット滋賀)

会長 家森 茂樹

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

会員並びに関係の皆様方には、水土里ネット滋賀の運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、国の農業農村整備に係る令和8年度予算は、農業の構造転換や国土強靱化等を推し進めるため、補正予算を合わせて昨年度を大幅に上回る6,942億円が確保されました。また、構造転換集中対策期間に農地の大区画整備を加速化するために必要な制度も拡充されました。これは、予算編成作業において、進藤議員や本県選出の国会議員の方々のご尽力の賜物と深く感謝申し上げるところです。

また、令和7年度の補正予算における本県への割当は、事業費ベースで令和6年度補正の1.34倍となる約54億円となっており、県議会農村基盤整備推進議員連盟をはじめ関係各所の皆様とともに国や県へ要望を重ね、地域の実情を強く訴えてきた成果であると喜んでいところでございます。

一方で、本県の農業・農村は人口減少や農業従事者の高齢化などにより農業の後継者確保や、それを支える農地および農業用水の管理が困難になるなど厳しい状況下に置かれており、食料安全保障を支える農業水利施設の保全管理や自然災害リスクに備えた農村地域の防災・減災対策を計画的に推進するためには、当初予算を含め農業農村整備予算を拡大しなくてはなりませんし、制度の充実も不可欠であります。

その実現のためには、国や県に地域の実情をしっかりと届け、そして何よりも、国会議員や県会議員の皆様と、我々の思いを一つにしていけることが大変重要であると考えております。

今後とも、予算の拡大や土地改良区の運営基盤の強化に資する各種制度の充実など、滋賀の農業・農村の発展のために全力で取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が我々土地改良にとって素晴らしい年でありますとともに、皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和8年1月



新年のご挨拶

滋賀県知事
三日月 大造

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、滋賀県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様へ健やかな毎日が訪れますよう、心よりお祈り申し上げます。また、日頃から県行政、とりわけ農業農村整備事業の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は戦後80年の節目に際し、友好県省協定を締結する中国・湖南省と共に平和祈念行事を行うなど、恒久平和を願い様々な活動に取り組みました。

また、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」では、全国から選手団や応援の方々など延べ68万人を超える皆様をお迎えし、「輝き」で満ち溢れた大会となりました。「大阪・関西万博」では、本県の自然や文化など多彩な魅力を国内外に発信しました。これらの経験を「レガシー」として、今後の健康づくりやまちづくりにしっかりと生かし、広がった世界とのつながりも継続・発展させてまいります。

一方で、現在、社会は、不確実な状況が続いています。そのような状況の中でも、一人より二人、隣に人がいること、寄り添うことで力が湧きます。「連帯」を大事にしながら、みんなで「暮らし」や「社会」のあり方をリ・デザインしていく必要があると考えています。今年はその第一歩と位置づけ、変化の兆しを敏感に察知し、先を見据えた的確な行動を実行してまいります。

農村振興の分野においては、「改正食料・農業・農村基本法」を受け、将来にわたる農業水利施設の保全体制の構築を目指す土地改良法の改正が行われるなど、土地改良区の役割が益々重要になってきております。県では、第3期「滋賀県農業・水産業基本計画」（令和8年3月策定予定）の基本理念である「つながる、つづく、しがの農業・水産業～人と人・自然が育む近江の食と広がる豊かさ～」の実現に向けて、農業と関わる「人のすそ野」を拡大し、経済活動としての農業の競争力を高め、また豊かな資源を持つ農村を次世代に引き継ぐための取り組み等を進めています。世界農業遺産に認定されている琵琶湖と共生する本県農業・水産業を次世代へ継承するため、引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。

今年は、十干十二支では丙午（ひのえ・うま）です。「丙」は明るく燃え盛る太陽を表し、「午」は馬を意味し、力強さや躍動、前進を象徴します。この年のように、滋賀が力強く飛躍し、活力に満ちた一年となるようお願い、新たな挑戦を恐れず、地域の発展と未来の礎を築いてまいります。県民の皆様と手を携え、一人ひとり、すべての人が輝き、みんなでもにいきる「健康しが」をつくるため、全力を尽くします。一緒に頑張りましょう！



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

あけましておめでとうございます。滋賀県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義、地域主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますので、よろしくご指導をお願い致します。

さて、去年は、農政、国土強靱化、我が国経済にとって節目の年であったと考えています。土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、農業構造転換集中対策の開始、新たな土地改良長期計画と第一次国土強靱化実施中期計画も策定されました。

10月に高市早苗内閣が発足し、日本経済強靱化計画（通称サナエノミクス）が提唱され、我が国の経済転換の期待も広がっています。

3月の土地改良法の改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携していわゆる水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月に策定された食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「農地・水の確保」、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私はこれらの事業規模の積算を託され、実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「基盤整備による生産コストの低減」、「農業水利施設の戦略的な保全管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、令和8年度から令和12年度に推進が特に必要となる施策目標を設定、5年間の事業規模を「おおむね20兆円強程度」を目途としました。土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしています。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要です。特に農業構造転換集中対策期間の5年間は別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円(昨年比442億円増)となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援とご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願いし、新年のご挨拶と致します。



国や県等に地域の実情・ニーズを強く訴えました

1 農業農村整備事業予算の拡大と水土里ネットの運営基盤の強化を【滋賀県】

令和7年8月4日(月)、三日月知事をはじめとした関係部局の幹部や目片滋賀県議会議長に対し、令和8年度の農業農村整備事業に係る当初予算の拡大や水土里ネットの運営基盤の強化に向けた支援等を要望。



三日月知事へ要望



東副知事へ要望



目片県議会議長へ要望

2 農事用電力料金の負担軽減等を要請【関西電力】

令和7年9月4日(木)、関西電力株式会社ソリューション本部福澤統括部長に対し、電力料金の高騰により農業用水の安定供給が続けられるのか非常に危機感を持っており、農事用電力の負担を軽減するよう要請。



福澤統括部長に要請

3 持続的な農業の実現について意見交換【農林水産省】

令和7年9月17日(水)、小泉農林水産大臣と「農地の大区画化の推進」「農業水利施設の計画的な更新と突発事故への対応」「土地改良区の維持管理に対する支援の更なる充実」などについて意見交換し、予算確保と事業推進について要望。

小泉農林水産大臣に
滋賀県の土地改良の現状と課題について説明



4 食料安全保障を支える農業農村整備事業予算の拡大を【農水省・財務省】

令和7年10月20日(月)、滝波 宏文 農林水産副大臣、農林水産省 松本 平 農村振興局長、財務省 中山 光輝 主計局次長、国会議員などに、農業収益力の抜本的向上や食料安全保障を支える農業農村整備事業関係予算の令和8年度当初予算枠の拡大等について要望。



滝波農林水産副大臣へ要望



松本農村振興局長へ要望



中山主計局次長へ要望内容を説明



水土里ネットインタビュー

土地改良区女性理事 リレーインタビュー

土地改良区における男女共同参画として女性理事の登用が推進されており、滋賀県内でも20の土地改良区で31名の女性理事が就任されています。(令和7年10月時点)当誌にて、県内土地改良区の女性理事のインタビューを連載します。

①津田内湖土地改良区 員内理事

令和4年7月に就任され、現在2期目に入っておられる岡本理事と川部事務局長にお話を伺いました。



左から川部事務局長・岡本理事

理事に就任された経緯をお聞かせください。

(岡本氏) 現在の理事長さんから直接依頼があり断る理由もなかったことに加え、地元の者がするべきだと思ったので、引き受けました。

引き受けた際に不安はありませんでしたか。

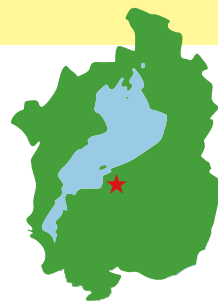
(岡本氏) 土地改良区のことは、どういう組織なのか知りませんでした。だからまずは勉強させていただこうと思ったので、不安はありませんでした。知ろうという気持ちが強かったです。

理事に就任されて思うこと・感じることをお聞かせください。

(岡本氏) 理事に就任して土地改良区の様々な問題を知ることができ、本当に勉強になっています。就任前は、自分が耕作をしていればよいかなと思っていましたが、就任後は、土地改良区は水のことや機械のことなど大変なことがあると感じています。また、自分のところだけでなく、地区の田畑について気にするようになりました。

今後の意気込みについてお聞かせください。

(岡本氏) 津田内湖は畑地専用地区であり、近年では果樹・野菜・花の栽培が盛んになって来ています。この地区を「津田干」ブランドとして発信していきたい。



女性理事が入れたことによる変化や期待されていることをお聞かせください。

(川部氏) 岡本理事が入ってくださって、理事会の雰囲気が明るくなりました。以前の理事会はあまり発言がなかったのですが、現在は岡本理事が理事会にて、積極的に発言されるので、他の理事も発言されるようになりました。とてもありがたいことだと感じています。引き続き、土地改良区全体のことについて、気づいたことは事務局に伝えてもらえると助かります。

これから女性理事に就任しようと考えている方にメッセージをお願いします。

(岡本氏) やはり知ろうという気持ちを持っていると違う世界も見えてきます。就任後、様々な縦横のつながりも出てきて、全国の女性理事さんと交流できる機会があったり、おうみ水土里ネット女性の会に参加すると県内の女性理事さんとの意見交換もできるので、刺激になり自分の学びにもつながります。女性の方も出ていくことに意味があると思うので、一歩踏み出してほしいです。



②湖北土地改良区

員内理事

令和7年4月に就任されました多賀理事、池田理事と中川専務理事にお話を伺いました。



左から池田理事・中川専務理事・多賀理事

理事に就任された経緯をお聞かせください。

(多賀氏) JAの女性部長をしていた関係で理事長さんと面識があり、今回推薦して下さったので引き受けることになりました。

(池田氏) 農業法人を経営している関係から、総代さんに連絡をいただき、じっくりと考えた上で引き受けました。

引き受けた際に不安はありませんでしたか。

(多賀氏) 土地改良区の名前だけは存じていました、事務局さんがしっかりとされていると想像しておりましたので、自分が真っ白な状態でも大丈夫だと思っていました。

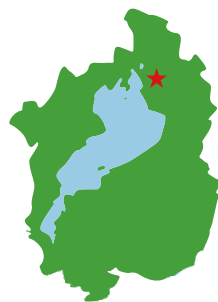
(池田氏) 不安はありませんでした。他の団体でもある女性枠の一つかなと思っておりました。土地改良区のことには存じておりませんでした。何も知らないからこそ不安はなかったです。



今後の目標や意気込みをお聞かせください。

(多賀氏) まずは土地改良区のことをしっかりと理解しないといけないので1～2年は勉強したいと考えています。私も池田さんも他の団体に女性枠で参加していますので、様々な立場から土地改良区のことを考えられるのが強みであると思っています。

(池田氏) 生産者としては給水が来ないこともありましたが、土地改良区の立場になればその理由も分かりますので、土地改良区と生産者の橋渡し役になれるのではないかと考えています。



女性理事が入れたことによる変化や期待されていることをお聞かせください。

(中川氏) 新しい視点で新しい風をふかせてくださるなあと感じています。土地改良区は地域との関わりが大切であり、池田理事がおっしゃったように橋渡し役を担っていただけるとありがたいです。女性としての視点や様々な立場から新しい提案をしてくださることをお二人に期待しております。

これから女性理事に就任しようと考えている方にメッセージをお願いします。

(両理事より) 土地改良区は組織がしっかりとしているので、飛び込んでいただければ良いと思います。JA・農業委員会・県・市町と並ぶ大切な組織ですから、そこに身を置かせてもらえることは有難いことであり、次に繋げるためにも一歩踏み出して下さい。



水土里ネット滋賀 技術支援活動

水土里ネット滋賀では、会員の皆様の業務にご活用いただける様々な研修会を実施しております。また、関係機関で行われた実習や研修の講師を務めております。今回は技術的な視点から当会の活動の一部をご紹介します。

①技術実践向上研修会〈空気弁・仕切弁研修〉

農業水利施設アセットマネジメント事業の円滑な推進を図るため、技術実践向上研修会を実施しています。

第2回研修会は、彦根市の清水工業株式会社様のご協力を受け、「空気弁」「仕切弁」の研修を行いました。管水路の適切な維持管理を行うため、各弁の構造・メンテナンス等の講習や空気弁の模型による管路の省エネ講習を実施し、知識の習得を行いました。



空気弁の模型による
管路の省エネ講習



仕切弁の講習



工場見学

②「サイホン式簡易放流装置」講習会

サイホン式簡易放流装置は、上流側と下流側の水位差を利用して、無動力で放流を行う装置で、電機や燃料が不要なうえ、人力での搬入・設置が可能です。

ため池の取水施設が故障し、操作不能等で水位低下ができない場合やその他、山間部や車の侵入が困難な場所等での放流に有効です。



(サイホン実演のyoutube動画)



軽バンに積みます



10/15に講習会を実施



一人で搬入可能(20kg程度)

サイホン式簡易放流装置の貸出しを行っておりますので、活用を検討される場合は下記にご連絡ください。

【お問い合わせ先】

滋賀県ため池サポートセンター (TEL) 0748-42-7101 (FAX) 0748-42-5574
(滋賀県土地改良事業団体連合会 内) (E-mail : tamesapo@midorinet-shiga.com)

③ 滋賀県立大学測量実習

本会では、社会貢献活動の一環として、令和6年度より滋賀県立大学の学生の皆さんを対象とした測量実習の講師を務めています。

測量は農業・環境・インフラ整備など幅広い分野で欠かせない技術であり、正確な知識と技能を次世代に伝えることは、持続可能な社会づくりに直結します。

実習では、測量機器の操作方法や現場での安全管理等、実務に即した内容を指導しています。学生の皆さんが測量の重要性を理解し、将来の仕事に活かしてくれること期待しています。

本会では「技術の継承」と「地域社会への貢献」の両面から、農業農村整備の未来を担う人材育成に積極的に取り組んでいます。



測量機器の設置方法の指導



測量機器の操作方法の指導

④ 農業集落排水(維持管理適正化計画・ストックマネジメント)研修会

令和7年7月4日(金)に(一社)地域環境資源センター(JARUS)の主催で開催されました「令和7年度 農業集落排水(維持管理適正化計画・ストックマネジメント)研修会」に講師として、本会職員1名を派遣しました。

本県では、令和7年4月1日現在、8市3町で143地区の農業集落排水施設が稼働しており、多くの施設で供用開始後20年以上が経過し、老朽化が進行しています。このような状況の中、現在、農業集落排水施設の維持管理費の削減等を目的とした維持管理適正化計画の策定が進められています。本研修会では、この維持管理適正化計画の検討項目の1つである、施設の再編・集約の検討手法について事例発表を行いました。

各市町の技術系職員の減少が予想される中、施設の再編・集約、施設規模・処理方式の適正化、省エネルギー機器の導入の検討等を通じて、適正な施設の運営管理手法や維持管理費の削減手法を提案し、本県の農業集落排水事業の推進に貢献していきます。



講演の様子



研修会の様子



トピックス

「第47回全国土地改良大会佐賀大会」が開催されました。

10月15日(水)から『水を利(り)して土を活(い)かす さがで語ろう郷里(さと)の未来』をテーマに全国の土地改良事業関係者が一堂に会し、農業の将来を見据えた「水土里ネット」の役割を再認識し、農業・農村のさらなる発展を目的として、「第47回全国土地改良大会佐賀大会」が開催されました。

「大会式典」では、長年にわたり土地改良事業の推進にご尽力された方々の功績を讃えて表彰式が行われ、能登川土地改良区前理事長 川南博司氏が農林水産大臣表彰を、野洲川土地改良区理事長 太田利貞氏が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞されました。誠にありがとうございます。



農林水産大臣表彰
川南 博司 氏
(能登川土地改良区 前理事長)



全国土地改良事業団体連合会会長表彰
太田 利貞 氏
(野洲川土地改良区 理事長)

令和7年度資格取得者

■業務課 東博一 基盤管理推進室室長が「農業用ため池管理保全技師」の資格を取得しました。

農業用ため池の管理及び保全に係る技術を活用し、農業農村整備分野の調査、計画、設計、施工管理、維持管理の技術的業務を行うための資格です。

■業務課 井上大地 主任が「測量士(補)」の資格を取得しました。

測量士の指示に従って、農地等の面積・距離・高低差・角度などを正確に測るための資格です。

■総務課 福永剛士 主任が「会計指導員」の資格を取得しました。

土地改良区等に複式簿記会計に関する巡回指導、財務管理に対する相談業務、指導監査等を行うための資格です。



水 土 里 ネット 滋 賀 に お 任 せ く だ さ い

工事(災害含む)発注のための 設計・積算、施工管理などの業務について

令和4年4月1日に施行された改正土地改良法において、土地改良事業団体連合会が行うことのできる事業に「会員からの委託を受けて行う土地改良事業の工事」が追加されました。

本会では、令和5年1月15日に「発注者支援機関」の認定を受けるとともに、会員である市町、土地改良区等が発注する防災、減災対策や農業基盤の整備等にかかる土地改良事業の工事(工事施工のために必要な調査・計画・設計・積算、施工管理等)の支援に取り組んでいます。積極的な活用をお願いします。



土地改良区機能強化支援事業 〈土地改良施設の診断・管理指導の実施〉

土地改良施設の円滑かつ適切な管理のため施設の診断業務を実施しています。

診断には、定期的に行う「定期診断」と、要請により診断指導を行う「要請診断」があり、定期診断については、揚排水機場は3年、その他の施設(ダム、頭首工、樋門等)は5年のローテーションで実施しています。

令和7年度は、ダム1施設、頭首工1施設、樋水門45施設、揚排水機18施設の定期診断を実施しました。



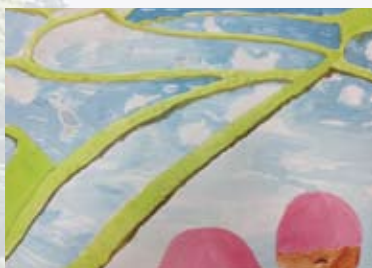
揚水機電気設備の診断



ゲート設備の診断



令和7年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品



水土里ネット滋賀

(滋賀県土地改良事業団体連合会)

〒521-1224 滋賀県東近江市林町601番地

- 代表TEL 0748-42-4806
- FAX 0748-42-5574
- ホームページ <https://www.midorinet-shiga.com>

農村まると保全

サポートセンター 0749-59-3636

(長浜事務所) support-center@midorinet-shiga.com

滋賀県土地改良事業団体連合会
ホームページ

